

委員会を改編 正副委員長を委嘱

神戸経済発展に向けた 課題に取り組む7委員会を設置

新体制の発足に伴い、委員会を改編し、それぞれの正副委員長ならびに委員の委嘱を決定した。

委嘱された正副委員長は次の通り。任期はいずれも2028年10月31日までの3年間。



(順不同・敬称略)

総務企画委員会

【委員長】

バンドー化学(株) 取締役会長 吉井 満隆

【副委員長】

角南商事(株) 取締役会長 角南 忠昭

(株)兵衛旅館 代表取締役社長 風早 和喜

シスメックス(株) 取締役 専務執行役員 国内・海外事業・MR事業担当 松井 石根
住友ゴム工業(株) タイヤ事業本部海外事業管理本部本部長 安達 武史
バンドー化学(株) 代表取締役社長 植野 富夫
(株)三井住友銀行 執行役員神戸法人営業本部長 結城 元紀

神戸空港委員会

【委員長】

バンドー化学(株) 取締役会長 吉井 満隆

【副委員長】

今津建設(株) 取締役社長 今津 由雄
神姫バス(株) 代表取締役・専務取締役 丸山 明則
(株)上組 代表取締役副社長執行役員 田原 典人
川崎重工業(株) 総務部長 河内 信哉
(株)神戸製鋼所 総務・CSR部長 佐々木憲政
関西エアポート神戸(株) 神戸空港本部副本部長神戸統括部長 藤原 大輔

企業経営委員会

【委員長】

三ツ星ベルト(株) 代表取締役社長 池田 浩

【副委員長】

大阪ガス(株) 理事兵庫地区統括支配人 山東 要

カワノ(株) 代表取締役社長 河野 忠友

神戸信用金庫 理事長 西多 弘行

(株)神戸洋行 代表取締役社長 船越 照平

(株)さくらケーシーエス 代表取締役社長 加藤 貴紀

(株)トーホー 代表取締役会長 古賀 裕之

神戸港活性化委員会

【委員長】

早駒運輸(株) 代表取締役社長 渡辺 真二

【副委員長】

(株)大森廻漕店 代表取締役会長 須藤 明彦
(株)上組 代表取締役副社長執行役員 田原 典人
川崎汽船(株) 神戸総務グループ長兼関西支店長 金原 翼
(株)神戸ウォーターフロント開発機構 代表取締役社長 岡口 憲義
加藤汽船(株) 代表取締役 加藤 琢二
阪神国際港湾(株) 取締役副社長 吉井 真

国際ビジネス委員会

【委員長】

藤岡金属(株) 代表取締役社長 藤岡 ゆか

【副委員長】

(株)アシックス 代表取締役社長COO 富永 満之

(株)神戸洋行 代表取締役社長 船越 照平

田嶋(株) 代表取締役社長 伊藤紀美子

東洋ナッツ食品(株) 代表取締役社長 中島 洋人

富永貿易(株) 取締役会長 富永 彰良

賑わい創出委員会			新事業・イノベーション創出委員会		
【委員長】			【委員長】		
(株)神戸ポートピアホテル 代表取締役社長執行役員	中内	仁	(株)神戸土地建物(株) 取締役会長	高田	厚
【副委員長】			シスメックス(株) 代表取締役社長		
(株)JTB神戸支店 支店長	木崎	尚文	【副委員長】		
神姫バス(株) 代表取締役・専務取締役	丸山	明則	(株)デジアラホールディングス 代表取締役	有本	哲也
(株)大丸松坂屋百貨店大丸神戸店 執行役員大丸神戸店長	松原	亜希子	(株)アシックス 秘書部長	仙田	正之
白鶴酒造(株) 代表取締役社長	嘉納	健二	川崎重工業(株) 総務部長	河内	信哉
(株)老祥記 専務取締役	曹	祐仁	(株)神戸製鋼所 総務・CSR部長	佐々木	憲政
関西エアポート神戸(株) 神戸空港本部副本部長神戸統括部長	藤原	大輔	(株)神戸デジタル・ラボ 代表取締役社長	玉置	慎一
近畿タクシー(株) 代表取締役社長	森崎	清登			
クレセントタクシー(株) 代表取締役社長	橘	信之			
西日本旅客鉄道(株)兵庫支社 理事近畿統括本部副本部長兵庫支社長	平田	恭子			
(株)村上工務店 代表取締役社長	村上	豪英			
六甲山観光(株) 代表取締役社長	妹尾	昭孝			

今回の役員・議員改選を機に、前期の8委員会から7委員会に改編した。神戸空港の国際定期便就航に向けた施策や、古くから神戸経済の発展を担ってきた神戸港の活性化策を改めて検討するため、都市力強化委員会を改編し、新たに「神戸空港委員会」と「神戸港活性化委員会」を設置。次世代産業委員会の活動テーマであったデジタル技術活用・DX推進を「新事業・イノベーション創出委員会」に移管・統合した。

委員会一覧	
委員会名	主な活動テーマや取り組み
総務企画委員会	○事業計画・収支予算など商工会議所運営に関する重要事項の審議 ○会員の維持拡大や会館運営など組織・財政基盤強化策の検討 ○永年会員・会員事業所優秀功労者など表彰候補者の審査 ○議員・会員の交流および会員サービス事業などの検討
企業経営委員会	○中小企業振興施策、税制・法制に関する要望活動 ○経営者育成、人材育成・確保(女性・高齢者、外国人など多様な人材の活用など)に関する調査研究・情報発信 ○BCP（事業継続計画）の啓蒙普及 ○後継者難・事業承継問題に関する調査研究・情報発信
国際ビジネス委員会	○海外市場および通商政策に関する最新動向の調査研究 ○中小企業に対する海外ビジネス展開の支援 ○外国公館、外国商工会議所との経済交流や連携事業の推進 ○外国要人・企業などの受け入れ・接遇やビジネス交流の促進
神戸空港委員会	○国際定期便就航を見据えた神戸空港利活用に関する施策の検討 ○空港施設・機能の利便性向上に関する調査研究 ○空港島の活用・機能強化に関する調査研究 ○南北アクセス強化や空港・道路・港湾など都市インフラの整備促進
神戸港活性化委員会	○神戸港の集貨・創貨・国際競争力強化に資する調査研究、ポートセールス支援 ○みなとの特色を活かした賑わいの創出（ウォーターフロント再整備、遊覧船、マリーナの活用など） ○クルーズ客船の誘致促進と神戸市内での消費促進
賑わい創出委員会	○まちの集客・回遊・滞在を進めるための仕掛け・施策の推進 ○六甲山など神戸独自の観光資源の効果的活用 ○都心三宮・ウォーターフロントエリアの活用・魅力づくり ○インバウンド受け入れ環境の整備促進 ○兵庫県内・関西・瀬戸内なども含めた広域周遊観光の促進
新事業・イノベーション創出委員会	○スタートアップ・エコシステムの推進とスタートアップの育成・誘致 ○地元企業とスタートアップなどとの連携・協業を通じたイノベーション創出 ○高度情報専門人材などの育成、研究シーズの社会実装などにおける産学連携の推進 ○AIなどデジタル技術活用とDXの推進 ○医療・バイオ・GX・ロボット・フードテックなど先端技術を活用した新産業の振興

1,000名が一堂に会して新年を祝う

新年合同祝賀会

当商工会議所、兵庫県、神戸市をはじめ20団体の主催による新年合同祝賀会を開催し、政官財の関係者約1,000名が参加した。

齋藤知事は、「今年は物価高騰や若者支援に関する施策をはじめ、2027年に開催予定のワールドマスターズゲームズ、2030年前後の神戸空港の国際定期便就航に向けて、観光施策を着実に進めていきたい」と語った。

久元市長は、昨年、阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えたことに触れ、「想定外を想定内にするとの決意のもと、安心・安全なまちづくりを進めてきた」と振り返りつ



総務部総務チーム



日韓の未来志向の経済協力について議論

第14回日韓商工会議所首脳会議

日本商工会議所並びに大韓商工会議所は、日韓商工会議所首脳会議を韓国・済州島で開催した。日本側からは日本商工会議所の小林会頭のほか川崎会頭ら35名、韓国側からは大韓商工会議所の崔会頭をはじめ58名が参加した。

「両国の未来志向の協力を共に考える」をテーマにした会議では、少子高齢化や地方創生など両国共通の課題を念頭に、国交正常化60周年を契機とした両国の経済協力について特別対談が行われたほか、日韓双方から4商工会議所が都市間交流促進の方策や特色ある事業について事例発表を



産業部国際チーム

つ、「今後も都心・三宮やウォーターフロントの再整備を着実に進め、国際都市神戸の発展に尽くしたい」と述べた。

また、李関西領事団長は、昨年開催された大阪・関西万博に触れ、関西の魅力を世界に発信することができたとし「関西領事団としても兵庫・神戸における国際化の機運を盛り上げるために頑張りたい」と述べた。

鏡開きに続く乾杯の挨拶で川崎会頭は、「地域経済の活性化のためには、交流人口の拡大が必要。経済界として神戸空港のアドバンテージを最大限に活用し、策を練っていききたい」と抱負を述べ、新年の幕開けを祝った。

12.17

日本最大級のスタートアップ専門展示会に川崎会頭が登壇

Startup JAPAN 2025 in 大阪 開会式&記念講演

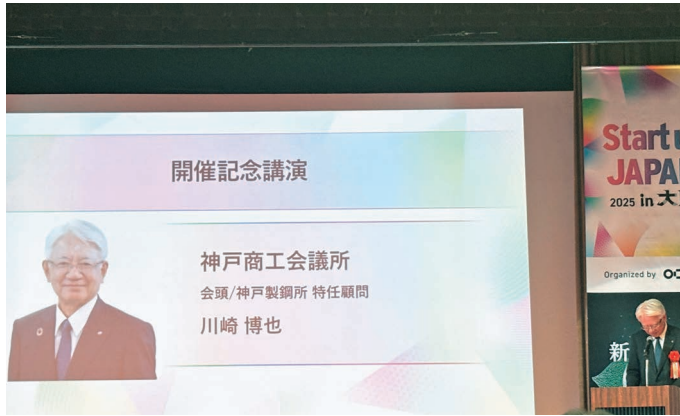
日本最大級のスタートアップ専門展示会「Startup JAPAN 2025 in 大阪」がマイドームおおさかで開催され、記念講演に川崎会頭が登壇した。

川崎会頭は、「社会環境が急速に変化する中、企業が成長するためには“変化と変革”が重要。切り札になるのがスタートアップと既存企業のイノベーション」と強調した。また、「熱意を持った人と人との繋がりが化学反応を起こす。神戸の企業やスタートアップとも繋がってもらいたい」と呼びかけた。

記念講演には、近畿経済産業局の信谷局長と大阪商工会議所の鳥井会頭も登壇。信谷局長は、「スタートアップは経済成長のドライバーとなる存在。関西は大学発ベンチャーや研究開発拠点の厚みを背景に、ディープテック領域で投資家の関心が高い」と述べた。また、鳥井会頭は、サントリーホールディングス(株)のイノベーション事例を紹介するとともに、創業者の鳥井信治郎の言葉「やってみなはれ。やらなわからしまへんで」を用いて、参加した起業家にエールを送った。



産業部産業振興チーム



11.28～12.26 映画館で素敵な逸品を展示販売

kino cinéma神戸国際 映画館チャレンジ出品事業



神戸国際会館11階にある映画館“kino cinéma神戸国際”のロビーに特設ブースを構え、地域の小規模事業者の商品を展示・販売するチャレンジ出品事業を実施した。

本事業は、中央支部で実施する“販路拡大プロジェクト”においてマーケティング手法などを学んだ事業所が参加。参加した4社は、専門家から効果的な展示方法について事前にアドバイスを受け、それぞれの商品を展示。消費者との新たな接点創出や認知度向上に取り組んだ。

参加事業所からは、「販路拡大の一歩として手応えを感じた」との声が聞かれた。

中央支部

12.4 新しいAI技術のビジネス活用策を探る

新技術活用ミートアップ「パイプコーディングのビジネス活用」



地元企業のイノベーション創出支援の一環として、最新技術を紹介するミートアップイベントを開催した。

今回のテーマは、人が日常的に使う自然言語を用いて、AIに指示するだけで瞬時にWEBサイトやアプリを自動生成できるソフトウェア開発手法「パイプコーディング」。

当日は、シリコンバレー発のスタートアップ“Replit”による技術解説と、ユーザーによる活用事例の紹介を実施した。

参加者からは、「最新技術に触れて刺激を受けた。AIは今後のトレンドであり、引き続き学んでいきたい」との声が聞かれた。

産業部産業振興チーム

12.11

現場責任者に必要な意識・行動を学ぶ

リーダー・主任・係長のための成果が出る実践マネジメント



ビジネスを取り巻く環境が急速に変化する時代において、現場リーダー職に求められる考え方や心構えを学ぶことを目的に、ビジョナリーソリューションズ代表の葉田勉氏を講師に迎え、セミナーを開催した。

葉田氏は、「リーダーとして成果を上げるためには、能動的に行動し続けること、コミュニケーションを通じてチームに情熱を注ぐこと、誰もが理解できる具体的なメッセージを発信することが重要」と説明した。

参加者からは、「学んだスキルを仕事に落とし込み、実践したい」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム

12.17 入会3年以内の会員企業が活発に交流

新会員懇談会



会員企業間のネットワークづくりの機会として、入会3年以内の会員事業所を対象に、新会員懇談会を開催した。

ミライリンク(株)代表取締役の湯川カナ氏を講師に迎え、「“伝わる・刺さる”キャッチをつくる!」をテーマに講演会を実施。湯川氏は、「創業期の広報においては、バズることではなく、応援してくれる仲間を作ることを目標とすべき」と強調。企業広報の基礎知識やキャッチコピーの作成法などを解説した。

また、講演後の交流会では、参加者同士で名刺交換が行われ、会員交流の輪が広がった。

会員事業部事業推進チーム

12.12

顧客との関係構築に向けたLINEの活用法を学ぶ

ゼロから学ぶ！公式LINEアカウント活用セミナー



(同)DICT代表社員の工藤洋輔氏を講師に迎え、公式LINEアカウントの活用をテーマにセミナーを開催した。

工藤氏は、顧客との関係構築におけるLINE活用の有効性を説き、成果が出ない典型例とともに、リッチメニューや自動応答、ステップ配信などの具体的な推奨機能について解説した。

参加者からは、「LINEの活用には手間がかかると思っていたが、業務効率化に直結することが理解できた。ぜひ利用してみたい」との声が聞かれるなど、デジタル活用による経営改善への意欲を高める機会となった。

西神戸支部

12.18 SVリーグ大河チェアマンが登壇

イノベーションを生み出す組織づくりとリーダーシップ



神戸スポーツ産業懇話会は、(公社)SVリーグ代表理事チェアマンの大河正明氏を講師に迎え、「イノベーションを生み出す組織づくりとリーダーシップ」をテーマに講演会を開催した。

大河氏は、大手金融機関を経て、サッカーやバスケットボール、バレーボールのプロスポーツリーグの要職を務め、リーグ創設や組織改革を手掛けてきた経験を紹介。「スポーツリーグは競技力向上に加えて、明確なビジネス目標を設定し、組織を構築することが重要」と語り、企業経営に通じるリーダーシップの重要性を強調した。

産業部産業振興チーム